

平成 26 年度市民モニターアンケート（第 2 回）集計結果

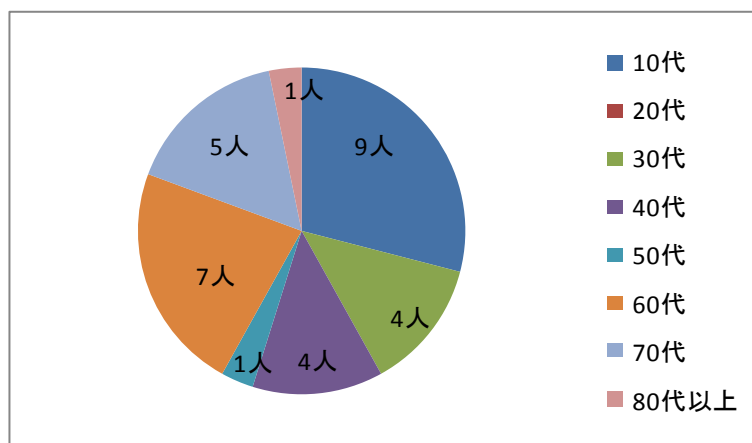
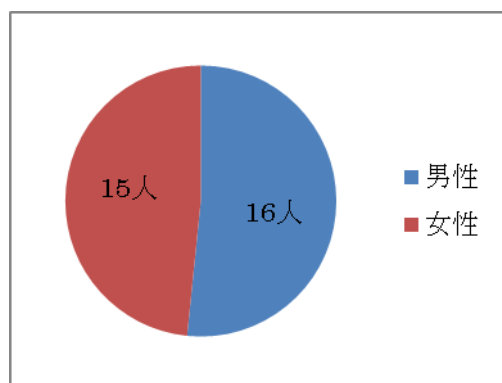
○【テーマ】「広報事業」について

調査の目的

市では、市民ニーズに応えられる広報活動に取り組んでいるが、より良い市政広報を行うための基礎資料とするためにアンケートを実施した。

調査の概要

- (1) 調査期間 平成 26 年 10 月 31 日 ～平成 26 年 11 月 28 日
※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 38 人
- (3) 回答者数 31 人 (回答率 81.6%)
- (4) 担当課 企画課



調査結果考察

【問 1】

市政に関する情報やお知らせなどの入手方法については、「広報えびの」が最も多く、2 番目に「テレビのニュース」、3 番目に「新聞記事」となっていた。市のホームページや市のフェイスブックから情報を入手している人は比較的少ないという結果になった。

【問 2】

市の行政サービスで、どのような分野の情報に興味・関心があるかについては、「まちづくり・地域活動・ボランティア」が 7 割強と最も多く、「健康・福祉」「学校教育・生涯学習」「災害・防災」が 5 割弱、「子育て」「観光・商工業」「都市計画・公園・景観」が 4 割程度という結果になった。結果から地域活動やボランティアに関心の高い人が多いことがうかがえた。

【問 3】

市政以外の一般的な情報を入手する手段としては、「テレビ」が最も多く、次に「新聞」となり、ほとんどの方がこの2つのメディアから情報を入手していることがうかがえた。3番目の「ラジオ」については2割程度であった。

【問 4】

パソコンやタブレット端末（雑誌大の広さの薄型軽量コンピュータ）の使用状況については、インターネットを見るのに使用されている人が「よくある」「ときどきある」をあわせて7割弱で、比較的、使用されている人が多いことがうかがえた。

しかし、インターネットを見る以外の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブック、LINE、ツイッター、mixi など）、動画提供サイト（You Tube など）、特定のブログを読むなどの利用は少なかった。

【問 5】

スマートフォンや携帯でのインターネットの使用状況については、「よくある」「ときどきある」をあわせて6割程度であった。

インターネットを見る以外の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブック、LINE、ツイッター、mixi など）、メールマガジンの配信を受ける、特定のブログを読むなどの利用は、【問 4】の回答より増えていた。こういったサービスは、普段から持ち歩いているスマートフォンや携帯での利用が多いことがうかがえた。

【問 6】

市ホームページの閲覧の際に、どのような媒体を使用するかについては、パソコンが4割程度、スマートフォン・携帯電話が2割程度で、4割弱の人がホームページを閲覧したことがないという結果であった。

【問 7】

どのような時にホームページを閲覧するかについては、最も多いのが「講座や催しなどを探す」が5割、「自然災害などが発生した時」が4割弱となり、「定期的に閲覧している」人は2人と少なかった。

【問 8】

必要とする情報がホームページに掲載しているかについては、「必要なときに必要な情報が掲載してある」をほとんどの人が選択されていた。

しかし、「情報の掲載はあるが不十分である」「必要とする情報が掲載していない」を選択する人も少数いた。

【問 9】

市公式フェイスブックページ「えびの市広報」を閲覧したことがあるかについては、「閲覧したことがない」が3.5割で最も多く、2番目に「閲覧したことがある」「閲覧して、コメントやいいね！などの行動をしたことがある」が合わせて約3割となっている。残りの約3割の人が「市公式のフェイスブックページあることを知らなかった」「フェイスブック自体、何のことかわからない」「無回答」となっている。

【問 10】

ホームページやフェイスブックページでどのような情報を提供してほしいかについては、「災害や避難などに関する緊急的な情報」が最も多く、2番目が「市が主催するイベントや講座などの情報」、3番目が「まちづくり政策に関する情報」となっている。

【問 11】

広報活動全般に関する意見では、市広報紙「広報えびの」に対するお褒めの言葉や、インターネットやフェイスブックなどの利用で便利になったというものがあった。

しかし、一方では、市公式のフェイスブックページがあることを知らない人が多いので周知すべきであるという意見や、高齢化率の高いえびの市において、ホームページなどに掲載している情報は広報紙にすべて掲載してもらいたい、インターネットを使用しない人のことも考えて、その日の行事を無線放送でお知らせしてほしい、インターネット環境を持たない人に対する配慮を求める意見もあった。

調査結果まとめ

市政に関する情報やお知らせの入手については、「広報えびの」「広報えびのお知らせ版」を使っている人が多いことがわかった。しかし、高齢化の進むえびの市では、ホームページやフェイスブックの利用率の低さ、また、同サイトの周知不足も伺えた。

今後、「広報えびの」、「広報えびのお知らせ版」の内容充実や、市ホームページ、フェイスブックがあることの周知は、もちろんだが、インターネットを利用していない人、携帯電話等のインターネットに接続できる媒体を持っているが、利用していない人への利用の促進をどうして行くか課題である。

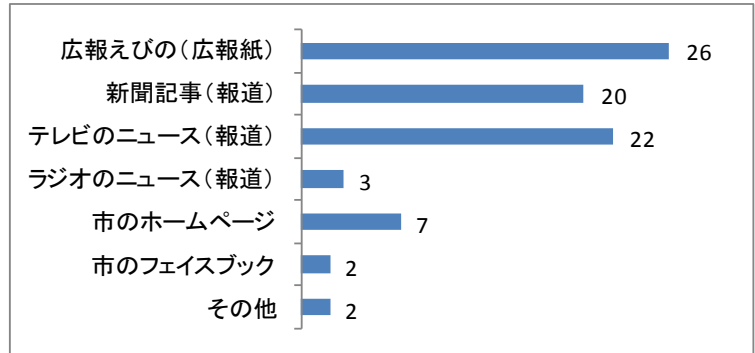
市のホームページについては、利用者からも知りたい情報はあがるがどこにあるかわからないなど意見もあった。今後、市のホームページは、利用する人が、使いやすく、わかりやすいレイアウトや内容にするなど、ホームページのリニューアル又は改善をしていく必要がある。

◆◆◆ 調査結果 ◆◆◆

1. 「市政情報の入手方法」について、お伺いします。

問1 日頃から市政に関する情報やお知らせなどは、どのような手法で入手していますか（テレビ・ラジオ・新聞による報道を含む）。（複数回答可）

選択肢	回答数
1 広報えびの(広報紙)	26
2 新聞記事(報道)	20
3 テレビのニュース(報道)	22
4 ラジオのニュース(報道)	3
5 市のホームページ	7
6 市のフェイスブック	2
7 その他	2
計	82



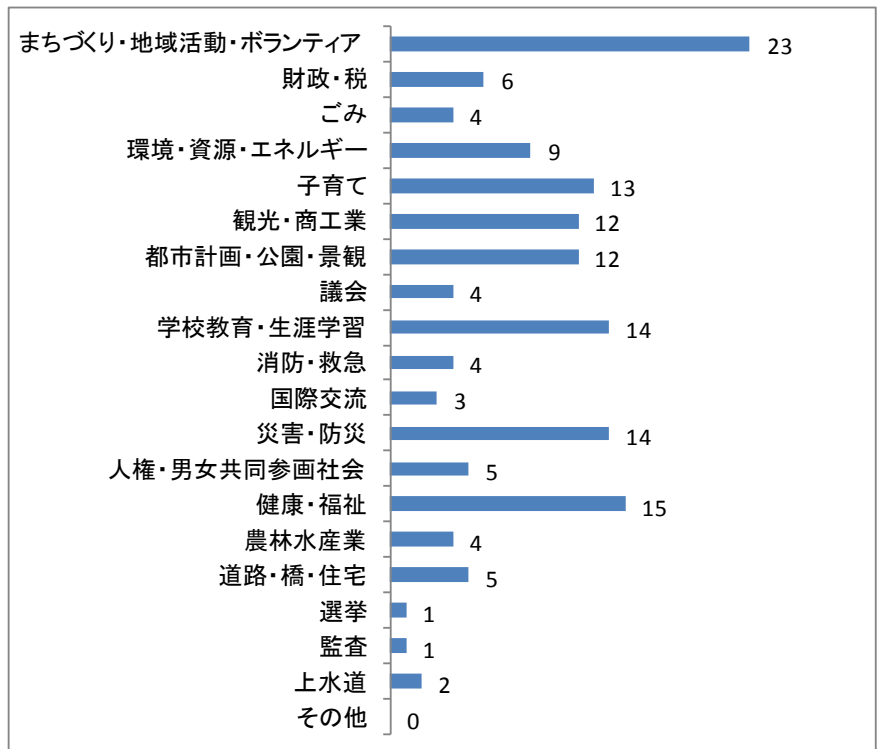
○ その他の内容

- ・ フリーペーパー、コミュニティ紙（誌）類

2. 興味・関心について、お伺いします。

問2 えびの市では、さまざまな行政サービスなどをおこなっていますが、あなたはどのような分野の情報に興味・関心がありますか。（5つまで選択）

選択肢	回答数
1 まちづくり・地域活動・ボランティア	23
2 財政・税	6
3 ごみ	4
4 環境・資源・エネルギー	9
5 子育て	13
6 観光・商工業	12
7 都市計画・公園・景観	12
8 議会	4
9 学校教育・生涯学習	14
10 消防・救急	4
11 国際交流	3
12 災害・防災	14

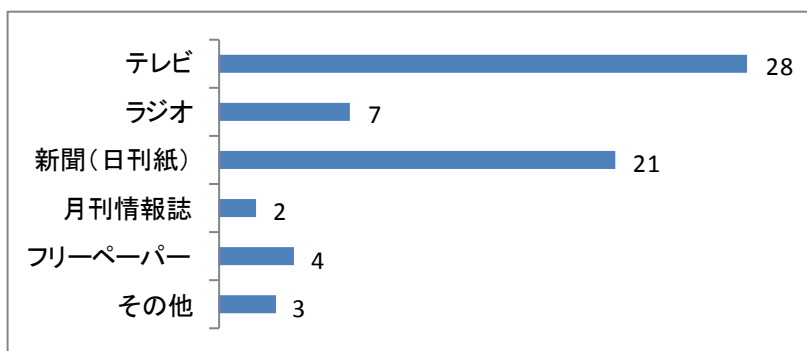


13 人権・男女共同 参画社会	5
14 健康・福祉	15
15 農林水産業	4
16 道路・橋・住宅	5
17 選挙	1
18 監査	1
19 上水道	2
20 その他	0
計	151

3. テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等の利用状況について、お伺いします。

問3 日頃から市政に関する情報以外の情報は、どのような手法で入手していますか。(複数回答可)

選択肢	回答数
1 テレビ	28
2 ラジオ	7
3 新聞(日刊紙)	21
4 月刊情報誌	2
5 フリーペーパー	4
6 その他	3
計	65



○ その他の内容

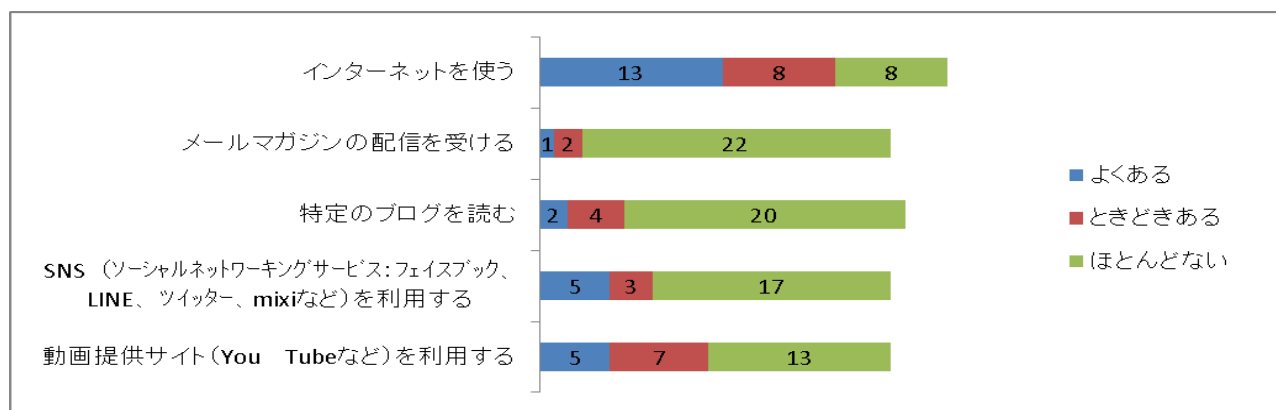
- ・ 人の話
- ・ インターネット
- ・ 夫

4. ICT (情報通信技術) の利用状況について、お伺いします。

インターネットを利用した情報提供・情報収集についてお伺いします。えびの市では、ホームページに加えて、平成 25 年 6 月から市公式フェイスブックページ「えびの市広報」を開設し、市政情報などをお知らせしています。

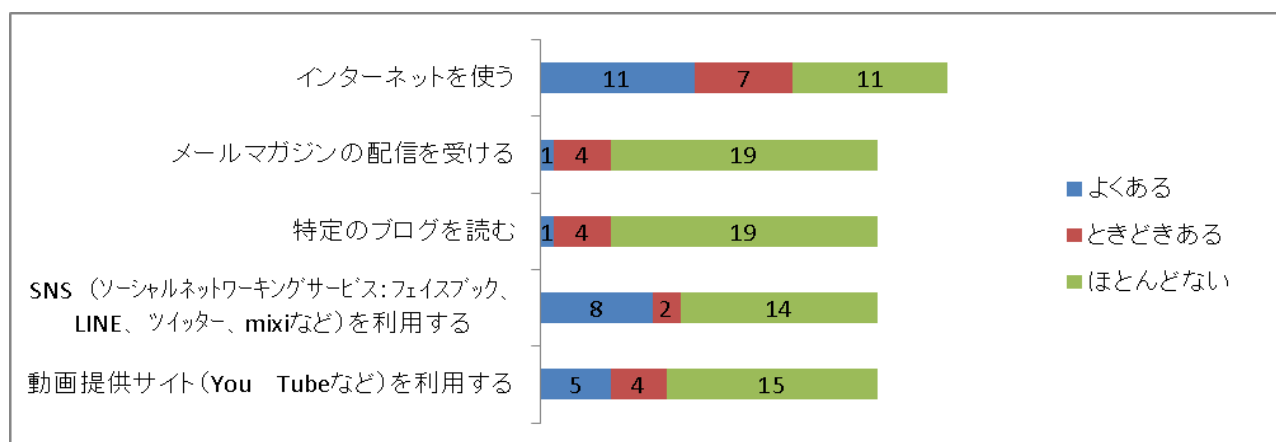
問4 以下の用途で、パソコンやタブレット端末(雑誌大の広さの薄型軽量コンピュータ)を利用していますか。

選択肢	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1 インターネットを使う	13	8	8	29
2 メールマガジンの配信を受ける	1	2	22	25
3 特定のブログを読む	2	4	20	26
4 SNS（ソーシャルネットワーキングサービス:フェイスブック、LINE、ツイッター、mixiなど）を利用する	5	3	17	25
5 動画提供サイト（You Tube など）を利用する	5	7	13	25



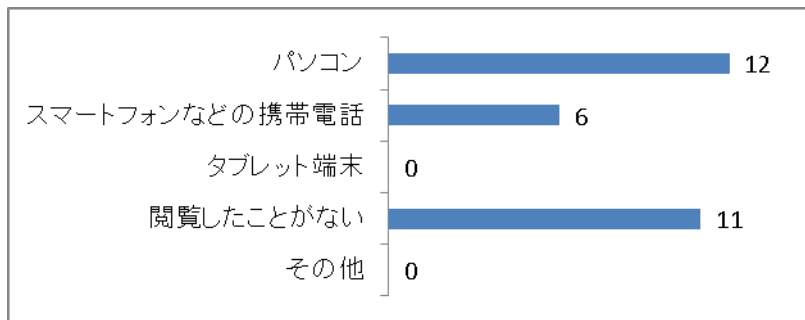
問5 以下の用途で、スマートフォン、携帯を利用していますか。

選択肢	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1 インターネットを使う	11	7	11	29
2 メールマガジンの配信を受ける	1	4	19	24
3 特定のブログを読む	1	4	19	24
4 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス:フェイスブック、LINE、ツイッター、mixiなど)を利用する	8	2	14	24
5 動画提供サイト (You Tube など)を利用する	5	4	15	24



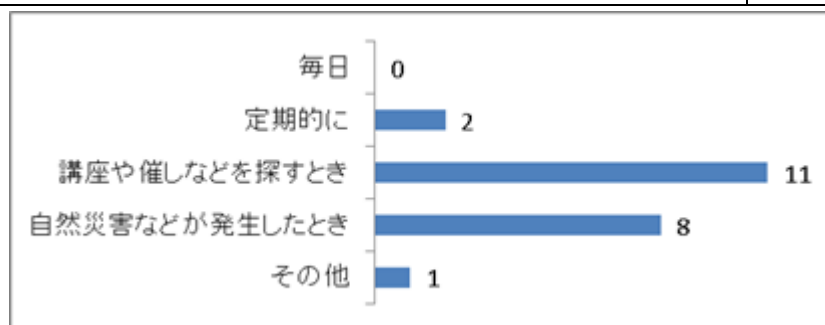
問6 えびの市ホームページ（以下、ホームページ）を閲覧する場合、どのような媒体を使って閲覧しますか。

選択肢	回答数
1 パソコン	12
2 スマートフォンなどの携帯電話	6
3 タブレット端末	0
4 閲覧したことがない	11
5 その他	0
計	29



問7 どのような時にホームページを閲覧しますか。

選択肢	回答数
1 毎日閲覧している	0
2 定期的に関覧している	2
3 講座や催しなどを探すときに閲覧している	11
4 自然災害などが発生したときに閲覧している	8
5 その他	1
計	22

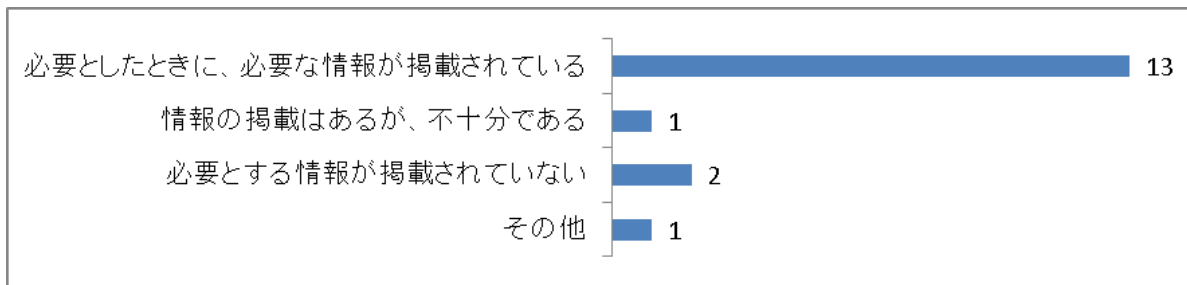


○ その他の内容

- ・ 夫に聞いて閲覧している

問8 あなたが必要とする情報が、ホームページには掲載されていますか。

選択肢	回答数
1 必要としたときに、必要な情報が掲載されている	13
2 情報の掲載はあるが、不十分である	1
3 必要とする情報が掲載されていない	2
4 その他	1
計	17



○ 2 情報の掲載はあるが、不十分である理由

- ・ Uターン組やIターン組を対象にする趣味や同好会、勉強会類の特徴や活動状況、新規入会の可否、手続き先等。会費の有無を問わず、市民にとっては媒体として最も身近な「広報えびの」誌で定期的に紹介してもらいたい。

○ 3 必要とする情報が掲載されていないとした方が提供して欲しい情報

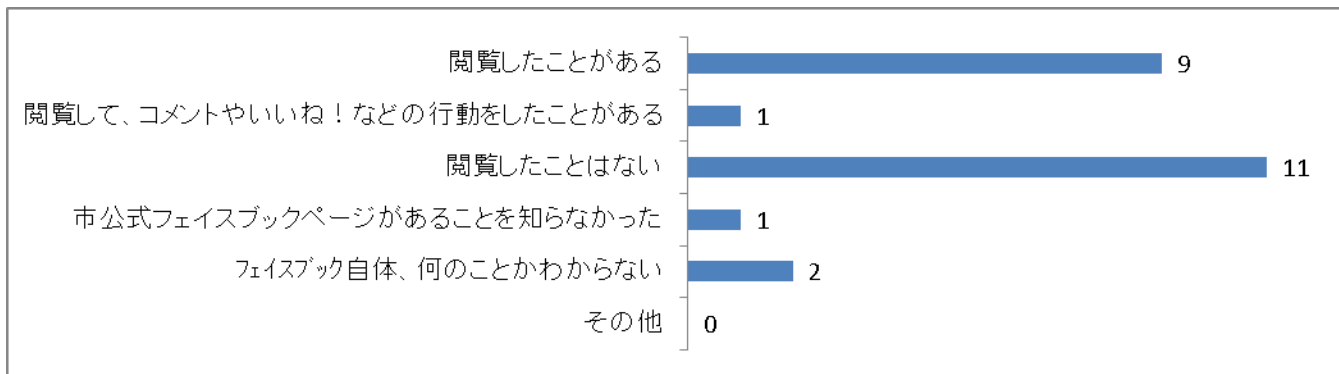
- ・ 男女共同参画審議会の開示
- ・ サイトを検索しきれていないからかもしれませんが、市でのイベントスケジュールをカレンダーに載せてほしいです。例えば、金婚式とか産業文化祭とか…。お知らせは閲覧されていると思いますが、確認したい時に結局、電話をかけることになってしまうので…。(市主催でなくても共催、協賛のものなども)

○ その他の内容

- ・ 私の周囲には、今年東京の出版社から3冊目の小説を出版し、来年には映画化されるという、地元えびのにはほとんど無名の人や純血種の薩摩鶏を南九州で(ということは日本中で、いや世界中で)唯一人飼育している人、核家族化進行の中、同一敷地内で一族4世代が住む人などがいます。全国紙のテーマにもなりうるが、まず市民の目線で「広報えびの」の「Face (フェース)」欄等に紹介してもらいたい人達です。

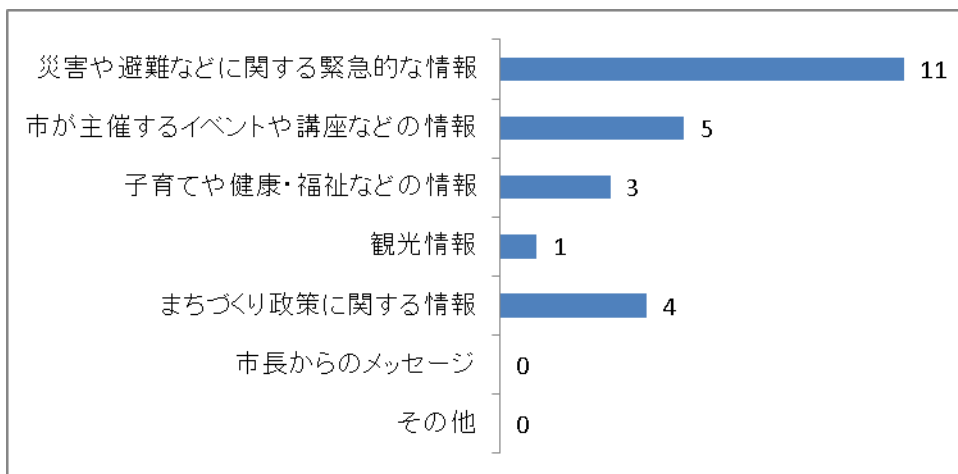
問9 市公式フェイスブックページ「えびの市広報」を閲覧したことがありますか。

選択肢	回答数
1 閲覧したことがある	9
2 閲覧して、コメントやいいね！などの行動をしたことがある	1
3 閲覧したことはない	11
4 市公式フェイスブックページがあることを知らなかった	1
5 フェイスブック自体、何のことかわからない	2
6 その他	0
計	24



問 10 ホームページやフェイスブックページを通じて、提供して欲しい市政情報は何か。

選択肢	回答数
1 災害や避難などに関する緊急的な情報	11
2 市が主催するイベントや講座などの情報	5
3 子育てや健康・福祉などの情報	3
4 観光情報	1
5 まちづくり政策に関する情報	4
6 市長からのメッセージ	0
7 その他	0
計	24



5. 最後に、お伺いします。

問 11 えびの市が行う広報活動全般について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

- ・ 今回、初めて、Facebookで「えびの市広報」を開設したのを知ったので、もっといろ

んな人に知らせないと、知らない人が多いと思う。

- ・ 月刊「広報えびの」誌は全国の地方自治体が発行する広報誌（紙）の中では相当レベルの高い媒体だと思います。日本広報協会や読売新聞、毎日新聞などが主催または後援する都道府県、市町村単位の全国すべての広報誌を対象とするコンクール等で、同誌はここ数年来、何回も上位に選ばれている事を一般の日刊紙で知りました。

表紙の写真は「人」と「町をつなぐ」という同誌のキャッチフレーズ通り、毎回、ヒト（人）がよく撮れ、センスが良いと感じています。

毎月のトップ記事の特集や個々の情報は時々旧聞に属し、採り上げるタイミングを失するものの、全体の誌面づくりはよく練られた内容で、読みやすく整理されています。

ウラ表紙の最終面「高原図鑑」と「ふるさと散歩」は切り抜いて保管している市民もいるようです。私にも当地及びこの周辺の自然や歴史、文化等が学べる貴重な教材になっています。

- ・ アンケートも2回目になりますが、いつも思うのがホームページとかインターネットを使って入手する方法などが書いてあるのですが、年代別に見たとき、実際、高齢化率の高い、えびの市なのですから、広報紙にはすべて、ホームページに載せている分について、掲載してもらわないといけないと思います。

若い世代の方はいいですが、インターネットをしていない方々のことも考えていくべきなのではと常に思っています。実際、高齢の方が災害が起きたときに携帯を見ますか？インターネットを見ますか？

防災無線とか、地域の見守り活動が一番大事だと思います。昔みたいに、その日の行事等を無線放送を使って広報した方がいいと思います。

- ・ 依然として、ごみを燃やす人がいて困っています。臭いや煙で洗濯物が変な臭いがすることがあります。広報紙の端の白い部分に「ごみを燃やすのは止めましょう！！」と毎号書くようにしたら少しはわかってもらえるのではないのでしょうか。

- ・ 私のように広報が主になっている者にとって、自分たちの行動、主に男女共同参画に関するフォーラム・セミナーの記事がお知らせには載っているが、そのものがどうだったか記事が少ない。人とまちをつなぐ、えびのとなってはいるが、本当に一人ひとりを大切にするには、男女共同参画の理念を取り上げてほしい。

まちづくり、差別、DV、防災など多くのことにかかわっているため、広く市民にアピールしたいためお願いしたい。男女共同参画の視点でもって、行政も考慮してほしい。

- ・ 広報は最近、写真がきれいで、前より見やすくなったと思います。
- ・ 昔に比べて、インターネット、フェイスブックを利用できるので、とても便利になったなあと思う。